

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果の概要と説明(第3学年対象)

1 平均正答率

国語	平均 正答率	学習指導要領の内容						観点別			問題形式別		
		知識及び技能			思考力・判断力・表現力			知識・技能	思考・判 断・表現	主体的に 学習に取り 組む態 度	選択式	短答式	記述式
		言語の特徴 や使い方に 関する事項	情報の扱い 方に関する 事項	我が国の言 語文化に関 する事項	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと						
第三中	72.7	74.1	67.4	73.9	82.5	67.9	67.5	72.1	72.6		74.6	69.7	71.5
東京都 (公立)	72.0	69.6	66.2	73.1	84.4	66.8	67.2	70.1	72.9		75.9	65.6	70.8
全国 (公立)	70.0	67.5	63.4	74.7	82.2	63.2	63.7	69.4	69.7		73.1	65.6	68
東京都 比較	+0.7	+4.5	+1.2	+0.8	-1.9	+1.1	+0.3	+2.0	-0.3		-1.3	+4.1	+0.7
全国 比較	+2.7	+6.6	+4.0	-0.8	+0.3	+4.7	+3.8	+2.7	+2.9		+1.5	+4.1	+3.5

数学	平均 正答率	学習指導要領の領域						観点別			問題形式別		
		数と式	図形	関数	データ の活用			知識・技能	思考・判 断・表現	主体的に学 習に取り組 む態度	選択式	短答式	記述式
第三中	60.0	72.9	42.4	60.7	54.1			63.7	52.0		54.1	70.1	52.0
東京都 (公立)	54.7	66.0	39.2	54.3	50.4			58.7	45.8		48.5	65.5	45.8
全国 (公立)	50.7	63.0	33.2	51.2	48.5			55.7	41.6		45.3	62.6	41.6
東京都 比較	+5.3	+6.9	+3.2	+6.4	+3.7			+5.0	+6.2		+5.6	+4.6	+6.2
全国 比較	+9.3	+9.9	+9.2	+9.5	+5.6			+8.0	+10.4		+8.8	+7.5	+10.4

英語	平均 正答率	学習指導要領の領域						観点別			問題形式別		
		聞くこ と	読むこ と	やり取 り	発表	書くこ と		知識・技能	思考・判 断・表現	主体的に学 習に取り組 む態度	選択式	短答式	記述式
第三中	51.2	64.3	55.2			30.2		56.2	45.3		59.8	36.7	20.6
東京都 (公立)	51.8	64.7	57.2			29.6		57.9	44.8		61.0	37.6	17.6
全国 (公立)	45.3	58.4	51.2			23.4		51.5	38.8		54.8	30.1	13.5
東京都 比較	-0.6	-0.4	-2.0			+0.6		-1.7	+0.5		-1.2	-0.9	+3.0
全国 比較	+5.9	+5.9	+4.0			+6.8		+4.7	+6.5		+5.0	+6.6	+7.1

2 無回答率

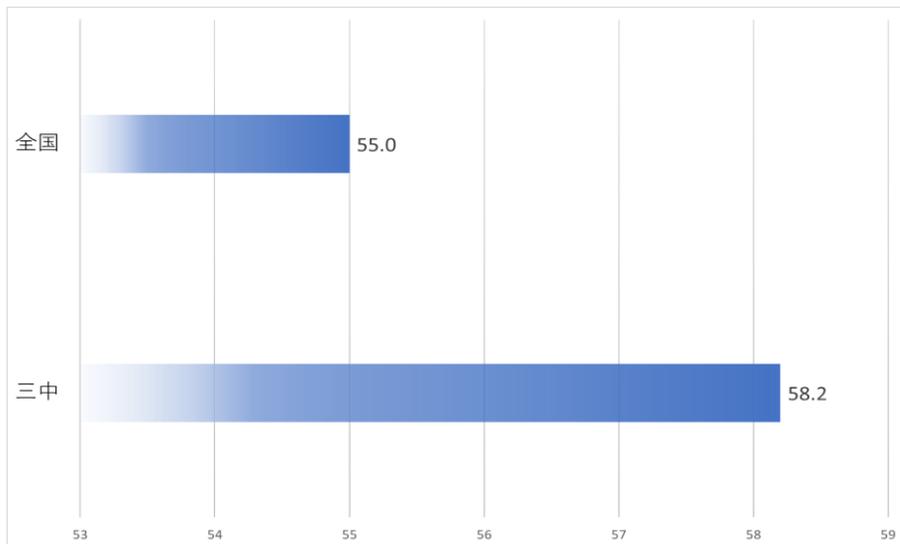
国語	平均 無回答率	問題形式別		
		選択式	短答式	記述式
第三中	4.3	1.7	4.7	8.8
東京都 (公立)	4.2	0.4	5.3	10.0
全国 (公立)	4.6	0.3	5.3	11.4
東京都 比較	0.1	1.3	-0.6	-1.2
全国 比較	-0.3	1.4	-0.6	-2.6

数学	平均 無回答率	問題形式別		
		選択式	短答式	記述式
第三中	7.8	1.2	6.9	0.6
東京都 (公立)	8.6	0.8	7.1	8.4
全国 (公立)	9.6	0.6	7.6	19.2
東京都 比較	-0.8	0.4	-0.2	-7.8
全国 比較	-1.8	0.6	-0.7	-18.6

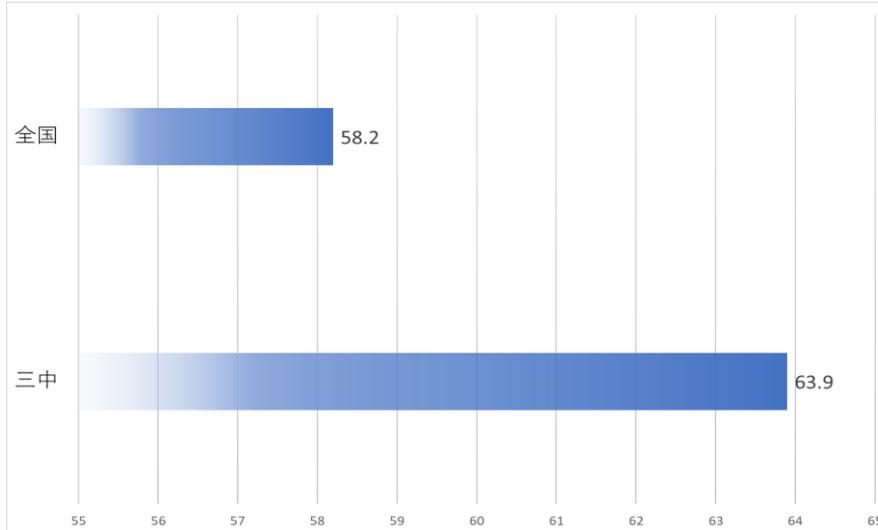
英語	平均 無回答率	問題形式別		
		選択式	短答式	記述式
第三中	4.5	1.4	10.2	14.4
東京都 比較	4.8	0.4	11.6	20.8
全国 (公立)	5.7	0.3	14.0	25.4
東京都 比較	-0.3	1.0	-1.4	-6.4
全国 比較	-1.2	1.1	-3.8	-11.0

3 生徒質問紙調査の集計結果より、すべての教科等の学力向上にかかわる要素

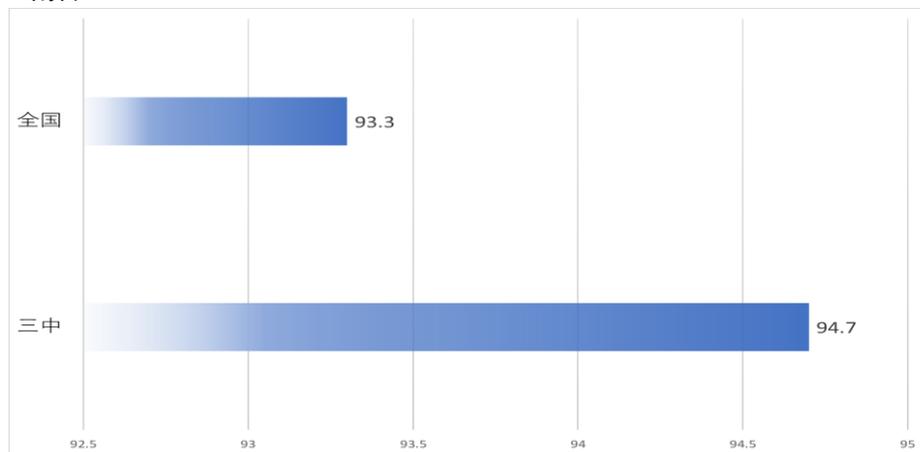
(1)「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」で、「よくしている」もしくは「ときどきしている」と回答した割合



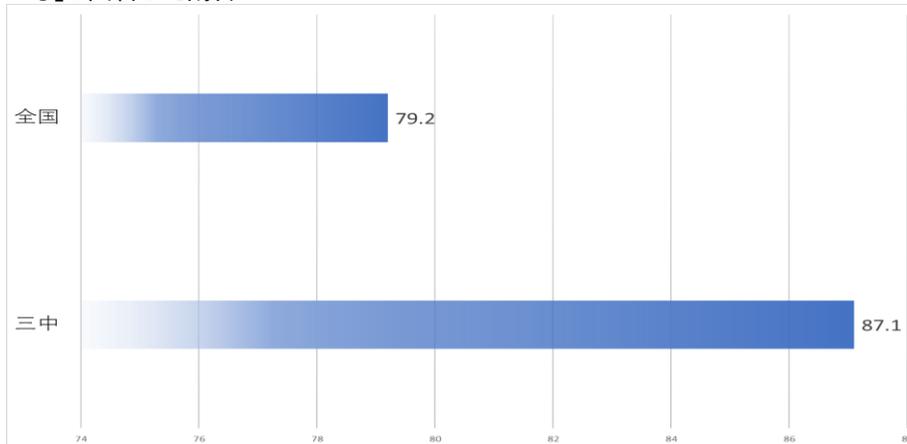
(2)「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合



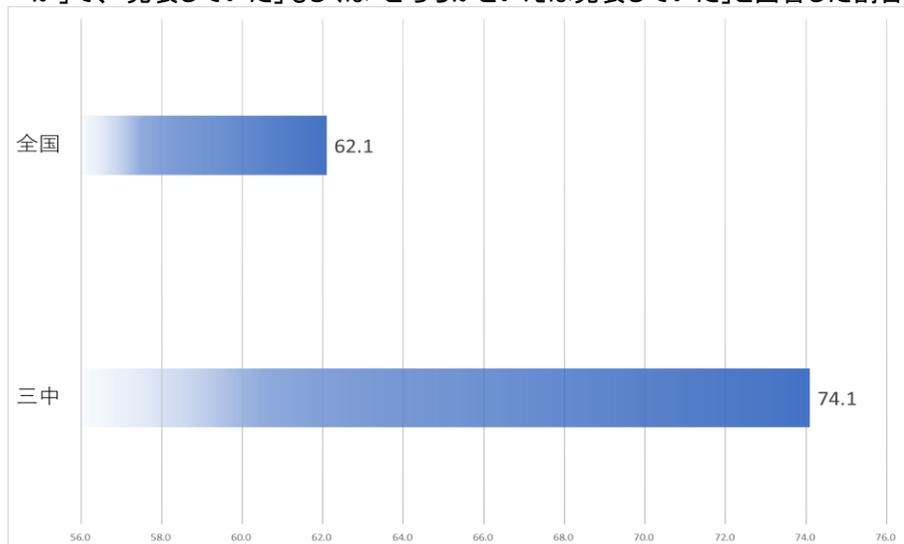
(3)「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」で、「役に立つと思う」もしくは「どちらかといえば、役に立つと思う」と回答した割合



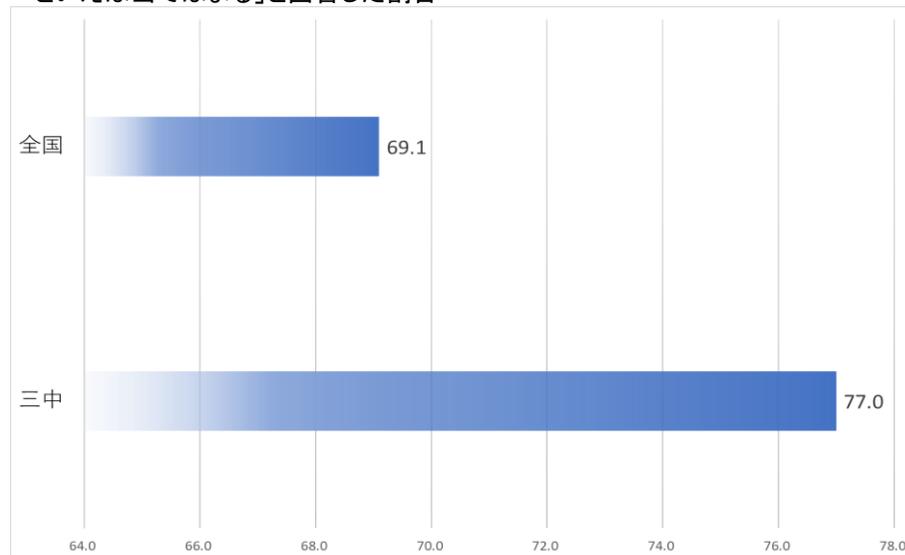
(4)「1・2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」で「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合



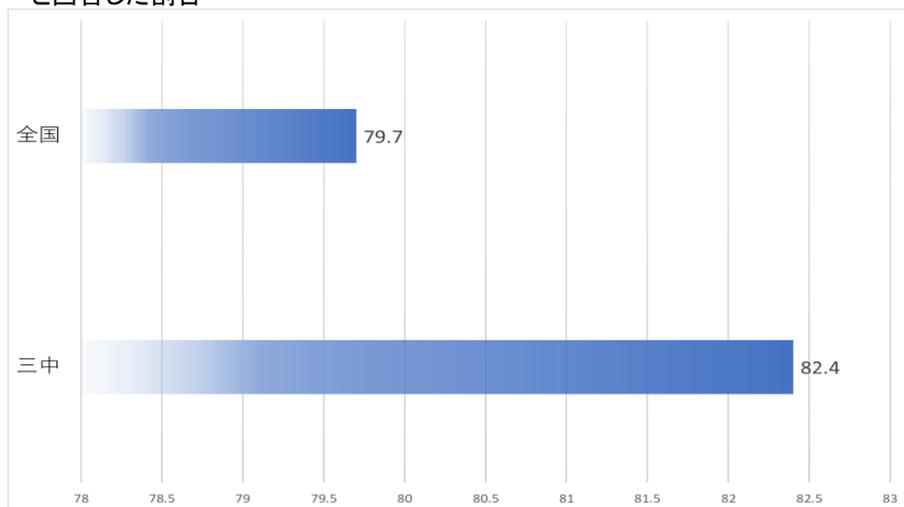
(5)「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」で、「発表していた」もしくは「どちらかといえば発表していた」と回答した割合



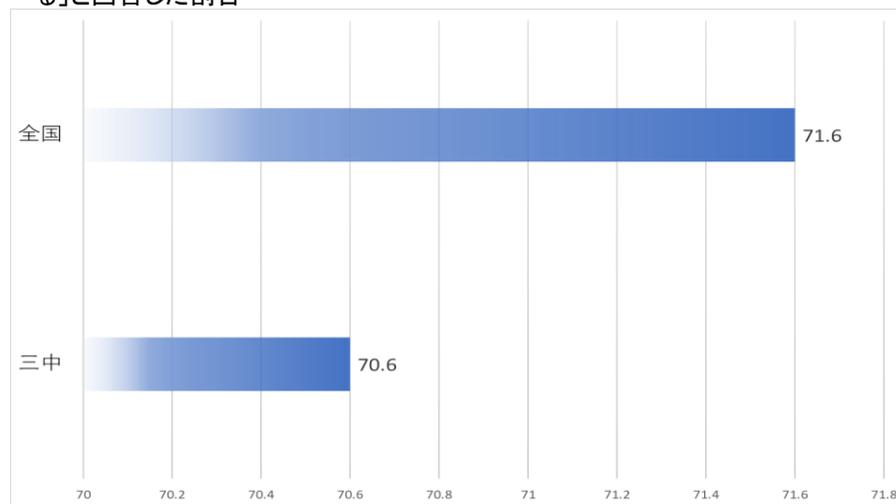
(6)「1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合



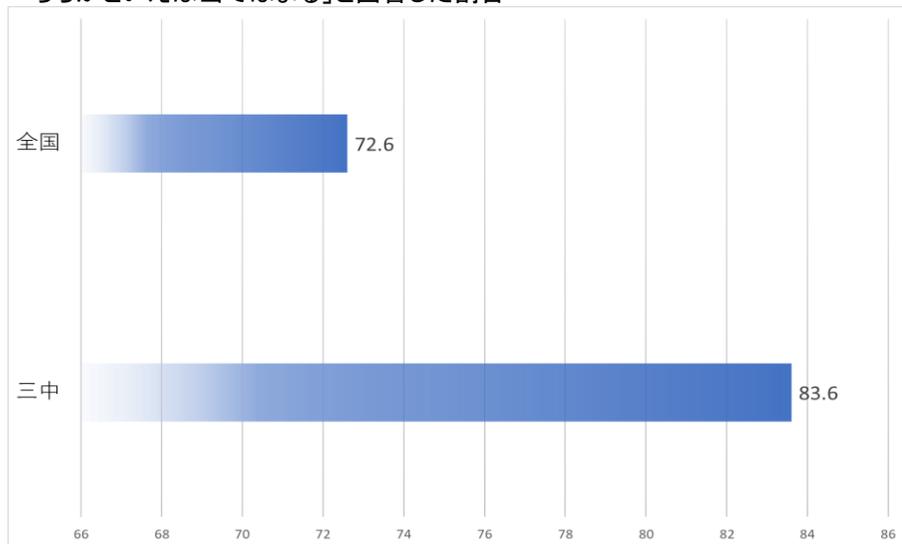
(7)「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合



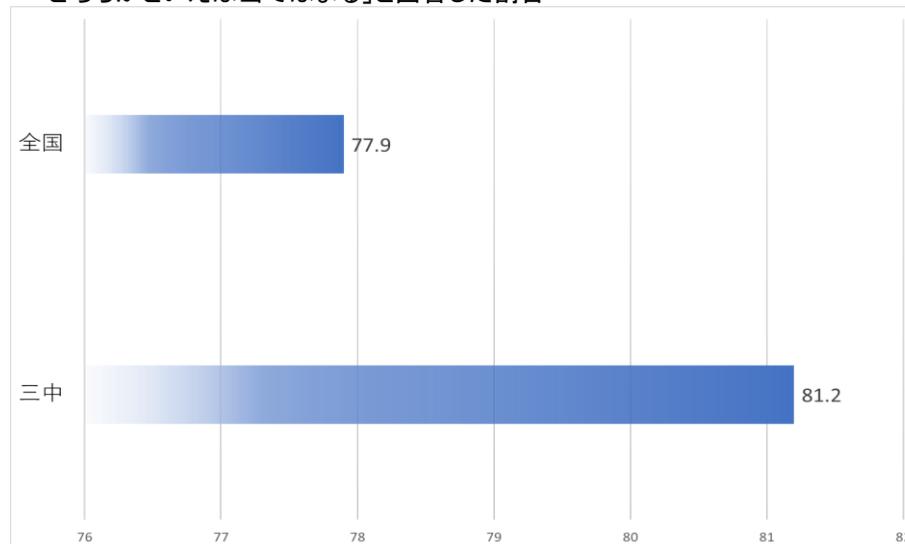
(8)「学級活動における学級の話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合



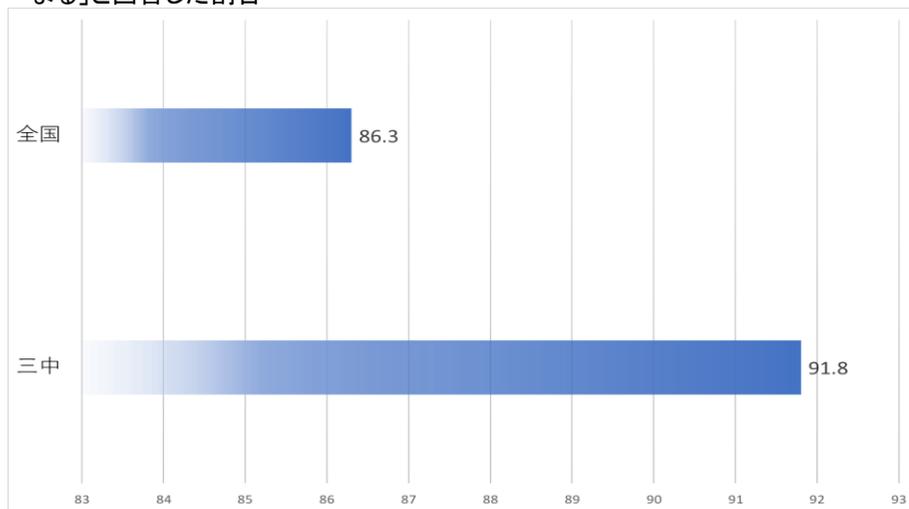
(9)「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合



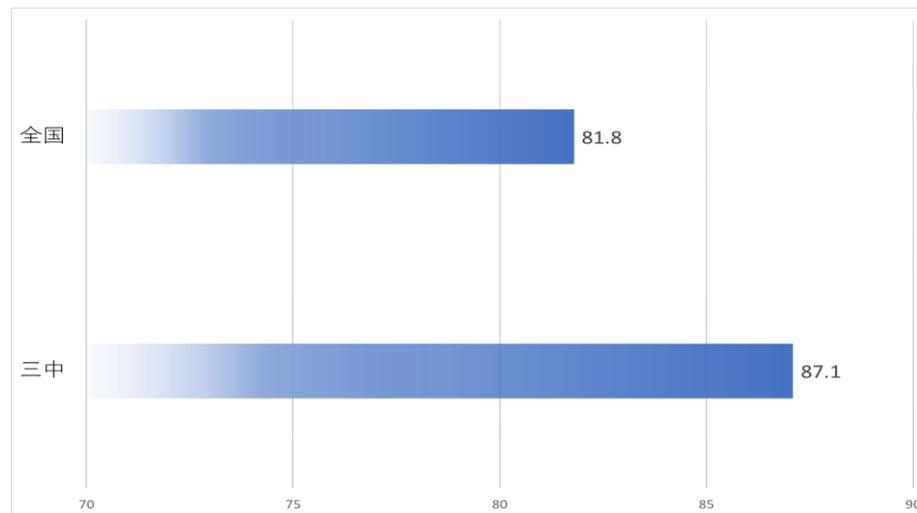
(10)「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合



(11)「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合

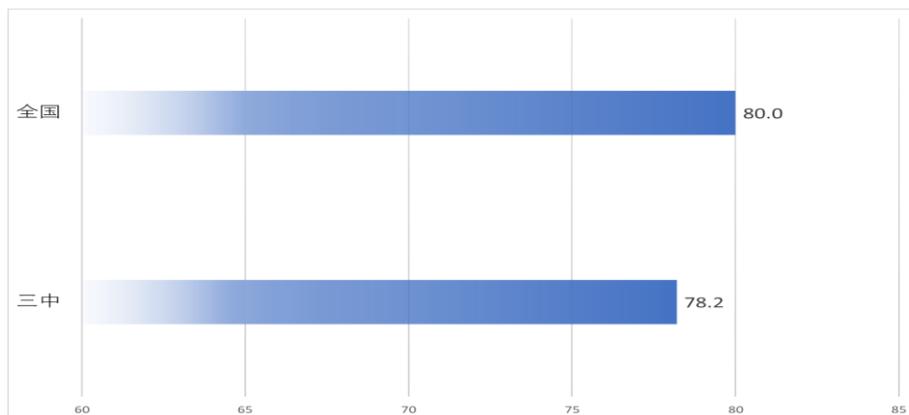


(12)「学校に行くのは楽しいと思いますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合

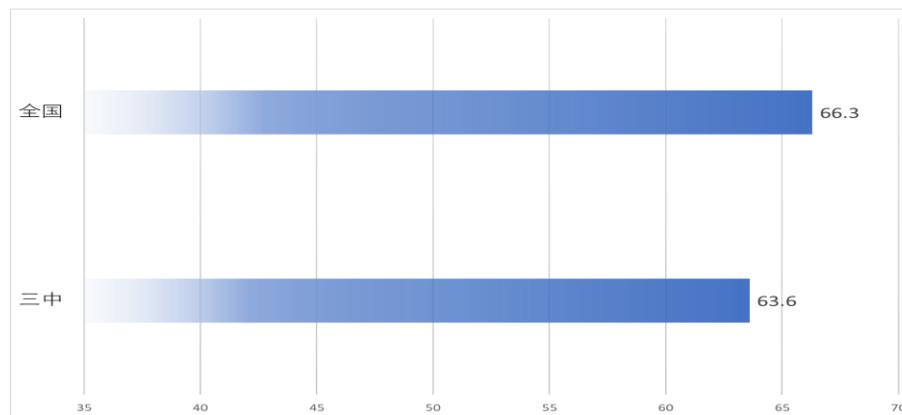


4 生徒質問紙調査の集計結果から見える課題

(1)「自分には、よいところがあると思いますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合



(2)「将来の夢や目標をもっていますか」で、「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合



5 ご説明

●「1 平均正答率」から

いずれの教科も全国平均を上回っていることが分かります。特に、数学の本校の平均正答率は顕著に上回っていることが分かります。

●「2 無回答率」から

文章・途中式・説明など、書くことが多くなる記述式問題になればなるほど、本校の無回答率は東京都や全国を大きく下回っていることが分かります。これは、あきらめことなく忍耐強く考えて取り組む習慣がついている子どもが多いということです。この習慣は、単独の教科の授業で身に付くものではありません。

●「3 生徒質問紙調査の集計結果より、すべての教科等の学力向上にかかわる要素」から

各教科において成果を収めるためには、資料などの情報を整理して自分でそれらをもとに考えてまとめたり、またそれらを言語化して互いに意見交換したり、また意見交換を通して自分の考えをさらに深めるなどの学習を、教科だけではなく、総合的な学習の時間や学級活動や道徳科の学習などすべての教育活動を通して取り組ませることが重要だと私は考えます。

そして何より、学校に行くことが楽しいと思える環境をつくってあげることも大切な要素です。

これらは、学校教育だけであることではなく、ご家庭においても「調べる習慣」「考える習慣」「家庭内で話し合う習慣」をつくるとともに、三中に喜んで送り出していただく雰囲気づくりなどを、各ご家庭でしていただいている成果だと思います。

●「4 生徒質問紙調査の集計結果から見える課題」より

ただし、全国と比較して、本校の子どもたちは、「自分を肯定的に見ることができなかつたり」「将来に対して明るい展望をもてなかつたりする」子どもが多いといえます。

●学力調査の結果は、「測れる学力」のうちの一部にしか過ぎず、この結果が「学力」というわけではないことに十分ご注意ください。

●また、今回お示した学力調査の結果、生徒質問紙調査の結果は、いずれも平均値であり、あくまでも本校の傾向を表したもので全ての子どもにそのまま当てはまるものではありません。

●本校の理念「一人一人の子どもを大事にする」をもとに、学習に苦手意識をもっている子どもには、どのような支援が必要か、どのような教材準備が必要かなどを考えながら、個に応じた指導を今後も進めてまいります。